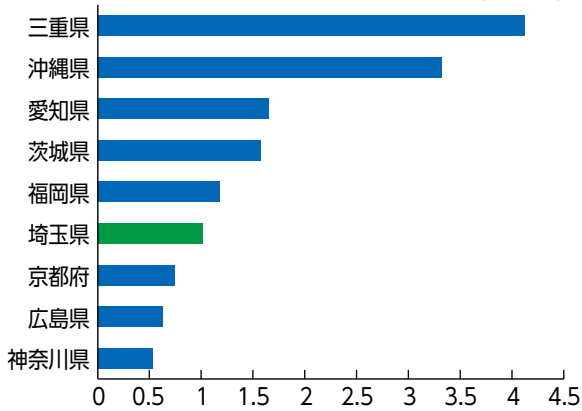
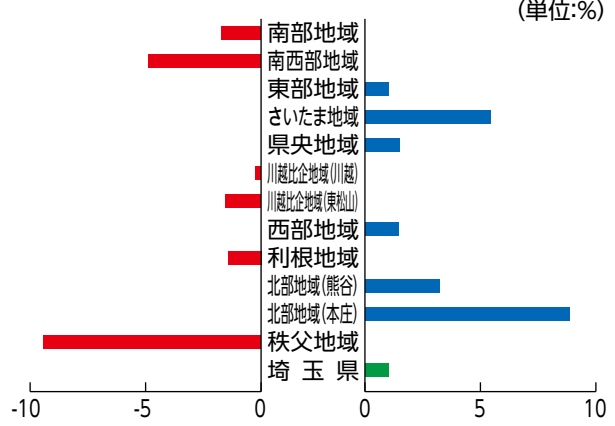


埼玉県の市町村内総生産(3) ～平成14年度→24年度実績の比較～

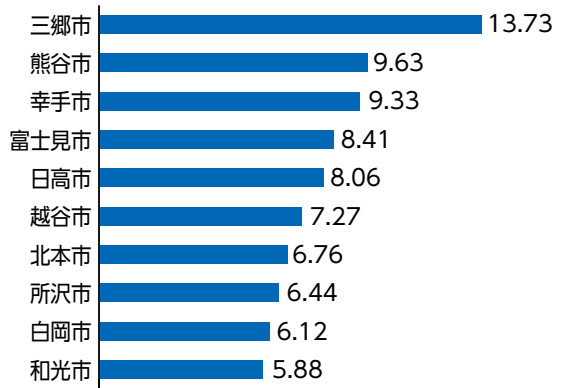
都道府県別県内総生産増加率
(平成14年度:24年度)比較
(増加している都府県) (単位:%)



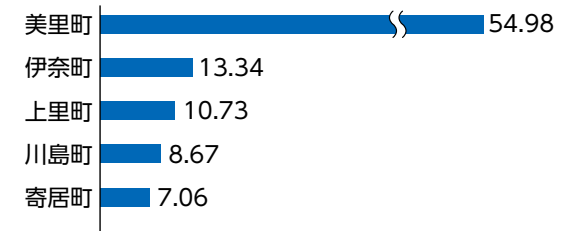
広域圏別総生産増加率
(平成14年度:24年度)比較 (単位:%)



市町村内総生産増加率
(平成14年度:24年度)比較
(上位10市) (単位:%)



市町村内総生産増加率
(平成14年度:24年度)比較
(上位5町) (単位:%)



出所：平成24年度埼玉の市町村民経済計算（埼玉県）、県民経済計算（内閣府）

埼玉県の市町村内総生産を題材にした最終回です。今回は県内総生産と市町村内総生産について直近の平成24年度と10年前となる平成14年度の実績を比較し、その増減を比較しました。まず都道府県別県内総生産について見ますと、この間増加していた都道府県は埼玉県を含めて9府県にとどまっています。埼玉県は増加率1.1%で三重県、沖縄県に続いて6位となっています。次に埼玉県内に目を向けてみます。右上の棒グラフは県内を広域圏別に分け、それぞれの総生産額の10年間を比較しました。地域名の右に棒グラフが伸びているのが増加した地域、左に伸びているのが減少した地域です。増加した地域は、北部地域（本庄）、さいたま地域、北部地域（熊谷）、県央地域など6地域です。減少した地域では秩父地域の▲9.4%が目を引きまます。

最後に総生産額が増加している市町村を市部上位10市、町村部5町を紹介します。顔ぶれをみると、この間に大規模開発が進んだ市や、圏央道のインターチェンジ周辺地域で企業立地が進んだ地域が多いことがわかります。